

令和8年6月12日
住宅局建築指導課

2050年とその先の建築のあり方を連続シンポジウムで議論！

～①ストック、②担い手・人材育成・DX、③市街地・まちづくりの3つの視点から～

建築分野を取り巻く環境が大きく変化する中で、社会資本整備審議会建築分科会等において、昨年4月から「建築分野の中長期的なあり方」について検討を行っています。この度、幅広い議論の喚起及び深化を目的として、①ストック、②担い手・人材育成・DX、③市街地・まちづくりの3つの視点から、連続シンポジウムを行い、2050年とその先を見据えた建築分野のあり方を大いに議論します。

■連続シンポジウム概要

テーマ：「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」

(1) 第1回 ーストックの視点からー

日 時：令和8年7月27日（月）14時～16時40分（開場13時）

会 場：アキバホール

（東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F）

プログラム：

基調講演：「豊かさの総和の最大化を目指す」

松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学学長

パネルディスカッション：

パネリスト（五十音順）

安達 功 氏 日経BP 総合研究所 フェロー（モデレーター）

五十田 博 氏 京都大学生存圏研究所 教授

神本 豊秋 氏 株式会社再生建築研究所 代表取締役

西村 周治 氏 合同会社廃屋 代表

松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学学長

水上 幸子 氏 株式会社リノベーション取締役



松村秀一氏

(2) 第2回 ー担い手・人材育成・DXの視点からー

日 時：令和8年8月3日（月）14時～16時40分（開場13時）

会 場：アキバホール

（東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F）

プログラム：

基調講演：「住宅・建築産業の近未来予測 ～市場・担い手・DX&AIのこれから～」

三浦 祐成 氏

株式会社新建新聞社 代表取締役社長



三浦祐成氏

パネルディスカッション：

パネリスト（五十音順）

池田 靖史 氏 東京大学大学院工学系研究科 特任教授

佐々木龍郎 氏 一般社団法人東京建築士会 会長

清家 剛 氏 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授（モデレーター）

長澤 夏子 氏 お茶の水女子大学 共創工学部 人間環境工学科 教授

三浦 祐成 氏 株式会社新建新聞社 代表取締役社長

（3）第3回 一市街地・まちづくりの視点から一

詳細が決まり次第、公表いたします。

（4）開催方法

現地・オンラインハイブリット開催（無料/要事前申し込み）

聴講申込：

聴講をご希望される方は、下記 URL 又は QR コードより申込をお願いいたします。

URL : <https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>

QR コード：



※申込は1名ずつとなります。複数人の聴講希望者がいる場合は人数分の申込が必要です。
※現地での聴講については席に限りがあるため、申込は先着順とします。

（参考）

下記 URL において、これまでの検討経過等について掲載しています。

○建築分野の中長期的なあり方に関する検討会及び懇談会

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_mn_000021.html

○社会資本整備審議会建築分科会

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s202_kenchiku01.html

<問合せ先>

住宅局建築指導課

TEL：03-5253-8111

